

「地域の力」の大切さを再認識しましょう!

～家庭・子どもと地域の関わり的重要性を考えてみてください～

- ☆「小金井市子どもの権利に関する条例」には、大人の役割として、
 - 子どもの健やかな成長への責任と義務
 - 子どもの安心、安全な環境の整備、保持
 - 子どもが地域の一員として参加できる機会の提供
 - 関係機関、関係団体の連絡、協力
 →「愛情」「意思」「環境」を願い求める子どもの権利を保障する社会の構築の重要性を明示

- ☆「次期学習指導要領」答申の中には、
 - 次代の郷土をつくる人材の育成
 - 地域で家庭を支援し子育てできる環境づくり
 - 学校を核としたまちづくり
 - 学び合いを通じた社会的包摂の方向性
 →地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動の重要性を明示

確認してみよう!

今回、「地域再発見!」をテーマとしたのは、少子高齢化、核家族化、生活環境の変化、家庭と地域の関係の希薄化等の中、子どもの健やかな成長を支える「地域の教育力」の重要性を再認識する必要があるからです。

アンケートの結果からは、

- 子ども・保護者の多くは地域の中で「あいさつ」をしている。
- 地域の方からの子どもへの注意を肯定的に捉える子ども・保護者が多い。
 - 小金井市の地域性の高さを象徴!
- ただし、地域でのボランティア活動や地域行事・地域で活動している団体への認識や参加は子ども、保護者とも少ない。その原因の一つとして、
 - 子どもの自由に過ごせる時間が非常に少ない!

結果、子どもの地域で活動している団体に対する認識・参加の少なさが、地域・郷土を愛する気持ちの低迷の原因となっているのではないかと?

将来、地域社会を支える重要な存在となる子どもたちに「地域の力」の大切さを知ってほしい

- 保護者が、地域の一員であるという自覚をもち、地域活動に目を向けることが重要です。
- 小金井市の地域活動について、家族で話題にすることが重要です。
- 地域の活動に目を向け、地域で活動している団体への積極的参加や地域貢献について、今一度、ご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

小金井市青少年問題協議会 (平成29年6月発行)

小金井市ホームページ <http://www.city.koganei.lg.jp/>

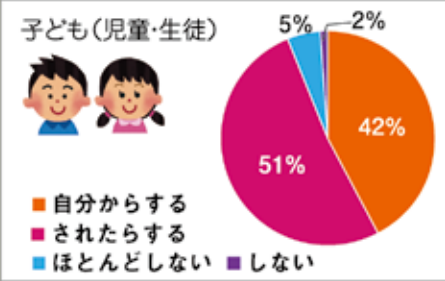
市政→審議会等→審議会等の一覧→福祉・健康・医療に関する審議会→青少年問題協議会から、過去に発行されたリーフレットも読めます。

小金井市子どもの権利に関する条例 ※市ホームページ→子育て・教育→子どもの権利 から閲覧できます。
 小金井市では、子どもの権利を保障し、子どもの健やかな成長を願って、「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「ゆたかに育つ権利」「意見を表明する権利」「支援を受ける権利」などを、家庭・育ち学ぶ施設・地域で保障することを求めた「小金井市子どもの権利に関する条例」を制定しています。

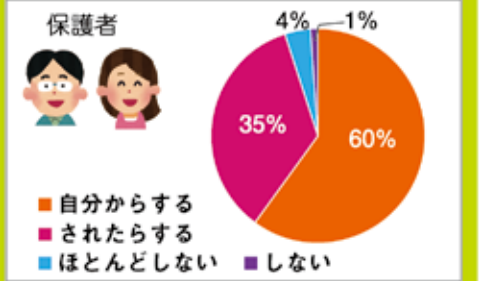


<地域との日常的な関わり>

あなたは、地域の大人にあいさつしていますか?

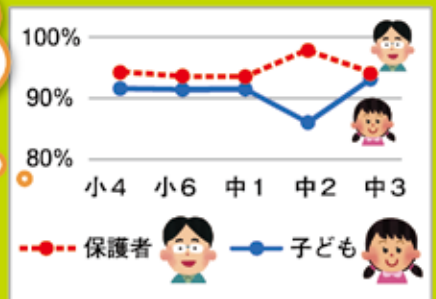


あなたは、地域の子ども(顔見知りの子も含む)に挨拶していますか?



ほぼ全ての学年で9割の子ども・保護者があいさつをしています。「しない」と答えた人の理由は「よく知らない人だから」が半分以上でした。

あいさつをするか答えた子ども・保護者の学年による推移



一方で「おじさんが、自分の知らない地域の大人に注意されていたらどう感じますか?」という質問に、76%の保護者が「子どもを見守る目が多くて安心」と答えています。「ありがたいけれど少し迷惑」と答えた20%を合わせると、96%が概ね肯定的です。

※小金井市の小・中学校の児童・生徒とその保護者へのアンケートから

少子高齢化や核家族化の進展により、近年、地域と家庭、地域と子どもたちの関係が希薄になっています。地域の子どもの見守り目や教育力の低下は、子どもたちが郷土愛や助け合いの精神を学ぶ機会を失わせ、基本的なルールが守れない子ども、さらには大人の増加につながるかもしれません。

各家庭における地域との関わりや現状はどうか、小金井市の子どもたちにどのような影響を与えているのか、子どもとその保護者はどう感じているのか。その実態を探るべく、アンケート調査を実施しました。

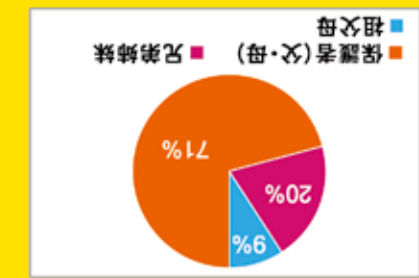
<アンケート調査方法>

- 実施時期=平成28年7月
- 対象=市内小学校2校、中学校2校(小4、小6、中学1～3年生)で1学級ずつ抽出
- 回答数=小学校(児童138人、保護者130人)中学校(生徒197人、保護者170人)
- 回答率=児童・生徒:97.67%、保護者:87.46%

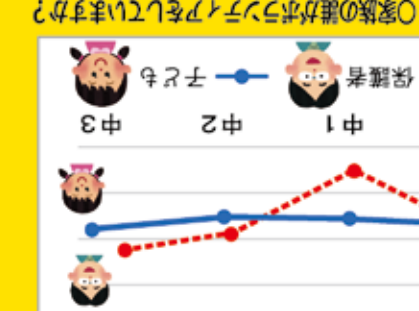
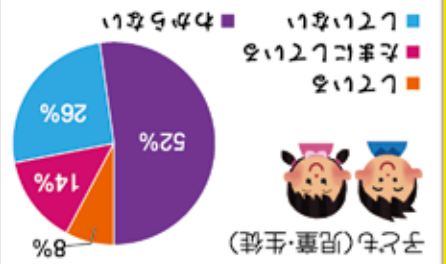
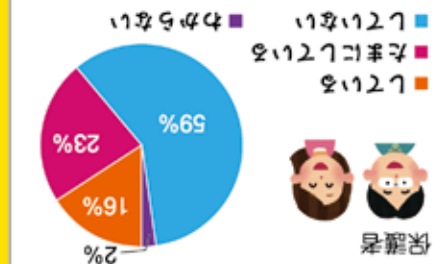
※裏面に「地域活動への関わり」の調査結果があります

※この冊子は再生紙を使用しています

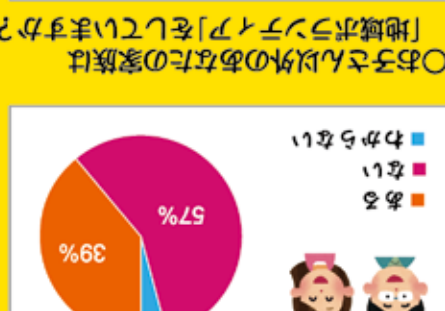
「地域との日常的な関わり」のうち、「ボランティア活動」に関する「子ども」と「保護者」の認識を調べたものです。



実際に地域でボランティア活動をしている家族は39%です。が、「家族が地域ボランティアをしている」と答えた子どもは22%と半分程度であり、「わからない」と答えた子どもは52%と、「家族が地域でボランティアをしていることを知らない子ども」が多いことがわかります。



「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

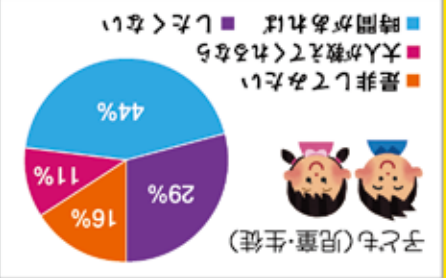
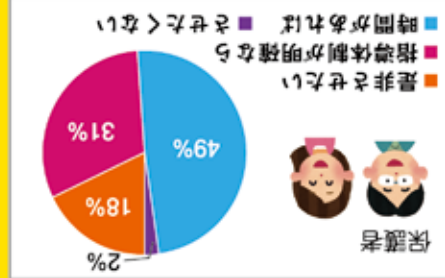
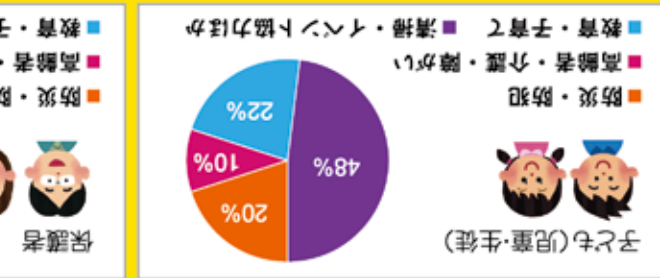
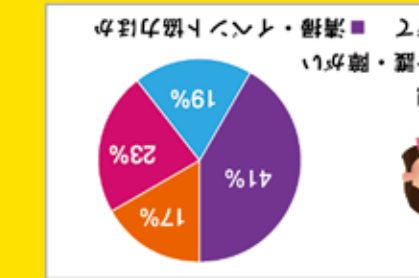


子どもには身近な問題ではないからでしょうか? 「高齢者・介護・障がい」に関連して「子ども」の関心が高いのは、核家族化の影響により「時間」が限られるという回答が多く、かつ「ボランティア」の認知・関心が高いことが多く見られます。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。



「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

「地域ボランティア」への参加経験は、子ども・保護者の認識にはあまりありません。学年が上がるにつれて子どもの参加率は上昇していますが、中3でも47%と半分未満の状況です。

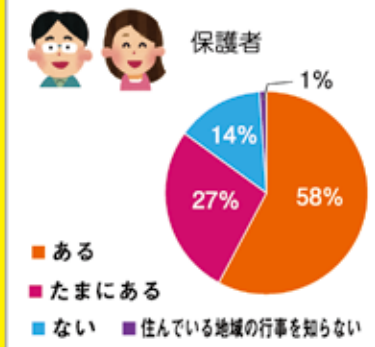
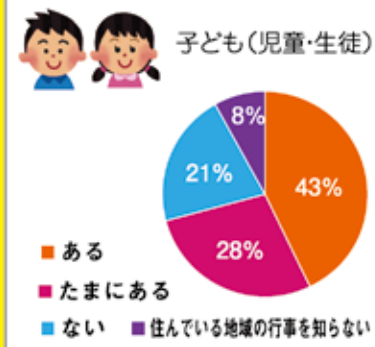
ボランティア活動について

※1「地域ボランティア」
 例: ①地域の防災・防犯活動 ②高齢者・介護・障がい者施設での地域で、自主的に参加する社会活動や奉仕活動
 ③児童館や公民館、学校での子ども向け行事の運営や手伝い ④地域の清掃活動など
 協議会や手伝い

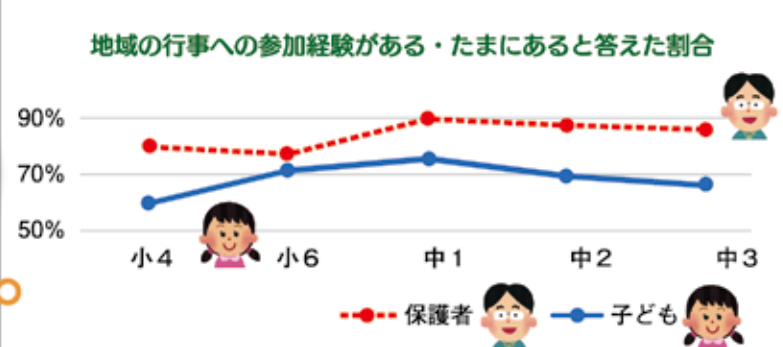
地域活動への関わりについて

※裏面に「ボランティア活動について」があります。

○ あなた(お子さん)は「地域の行事」^(※2)に参加したことがありますか？

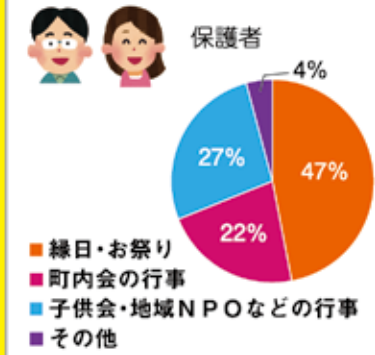
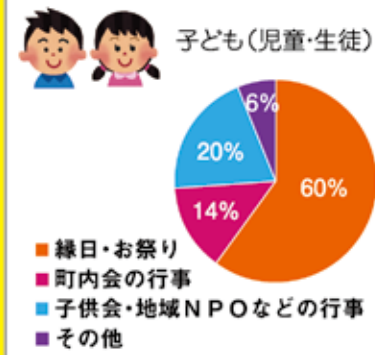


地域の行事に参加している自覚がない子どもが、全ての学年にいます。地域にどんな行事があるのか、どんな人がやっているのか、親子で話してみませんか？



※2「地域の行事」：お祭り、緑日、町内運動会、資源回収、町内清掃、防災訓練など

○ あなた(お子さん)が参加した「地域の行事」は？



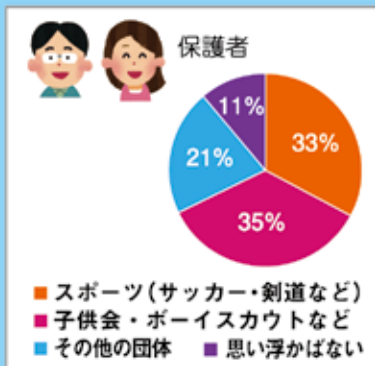
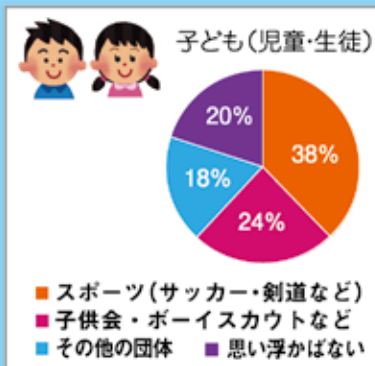
○ 実際に「地域で活動をしている団体」を知っていますか？

知っている、見かけたことがある、と答えた子ども・保護者の学年別の推移



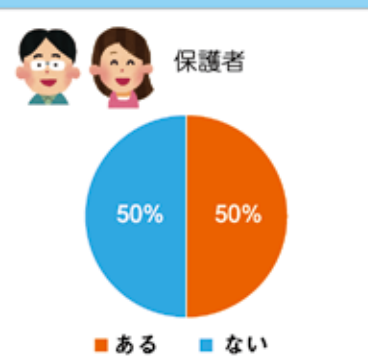
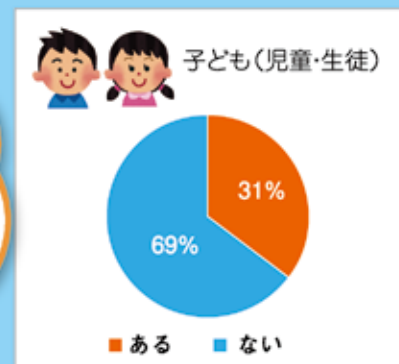
子どもは中学生になると忙しくなるためか、「知らない・関心がない」が増加する傾向があります。保護者は概ね6割程度の方が「地域で活動している団体」を知っているようです。

○ 「地域で活動している団体」^(※3)と聞いて何を思い浮かべますか？



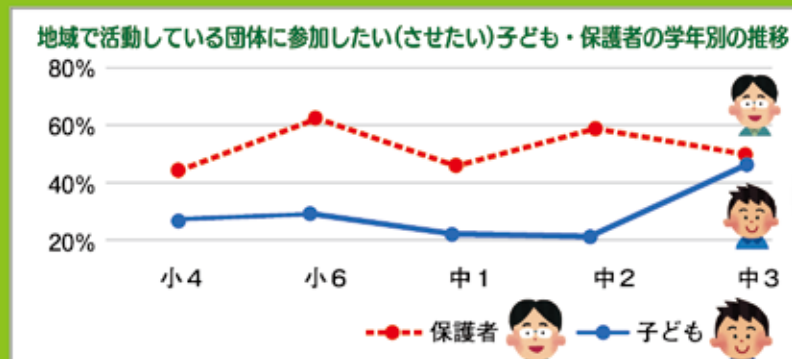
高学年になると、子どもは自分が「地域で活動している団体」に参加していたことを忘れてしまうようです。子どもが小さい頃、地域でどんな団体に参加していたのか、親子で話してみませんか？

○ あなた(お子さん)は「地域で活動している団体」の活動に参加したことがありますか？



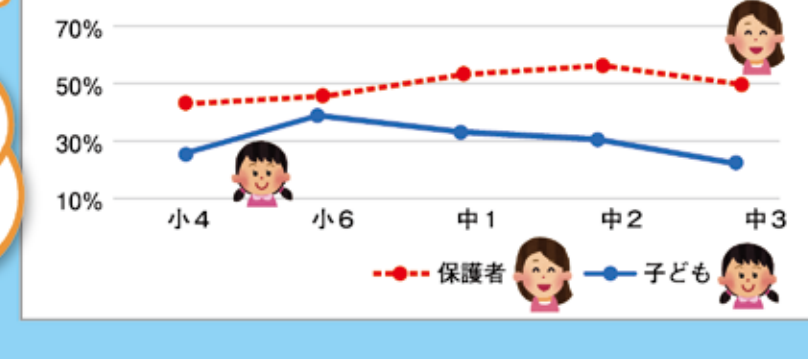
※3「地域で活動している団体」：①[スポーツ団体]野球・サッカー・剣道・柔道など
②[健全育成団体]子供会・ボーイスカウト・消防少年団・健全育成地区委員会など
③[その他の団体]地域NPO(読み聞かせ、野外活動、子育て支援など)

○ 「地域で活動している団体」の活動に参加したい(させたい)ですか？

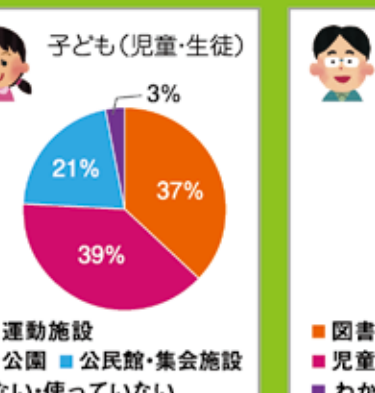
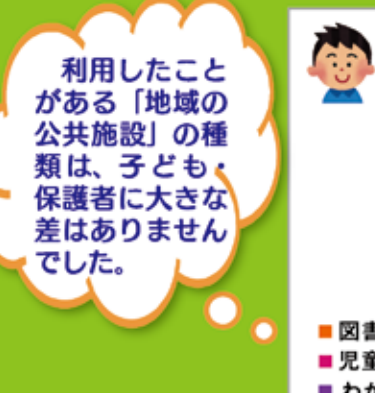


「地域で活動している団体」の活動に子どもを「参加させたい」保護者は、どの学年でも5~6割を超えますが、参加したい子どもは部活や勉強に忙しいのか、ほとんどの学年で保護者を大きく下回っています。

地域で活動している団体への参加経験があると答えた割合

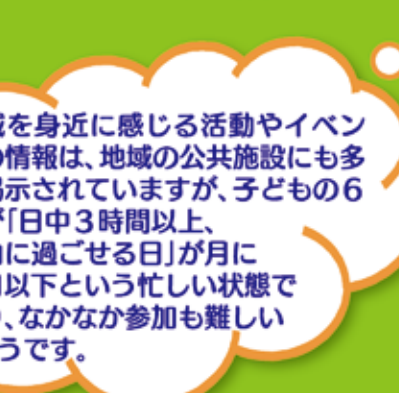


○ 地域の公共施設で利用したことがあるものは？



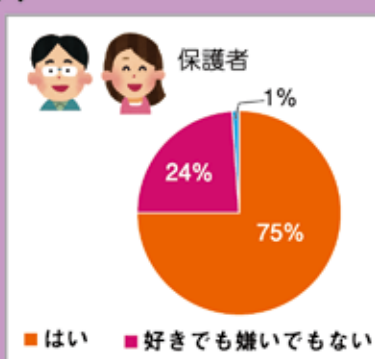
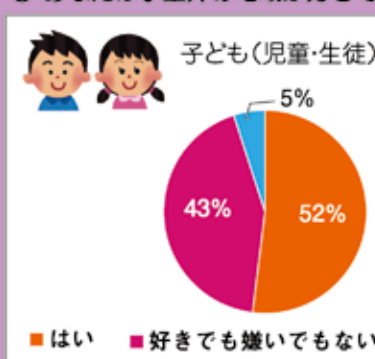
利用したことがある「地域の公共施設」の種類は、子ども・保護者に大きな差はありませんでした。

○ あなたが「日中3時間以上、自由に過ごせる日」は月に何日ありますか？

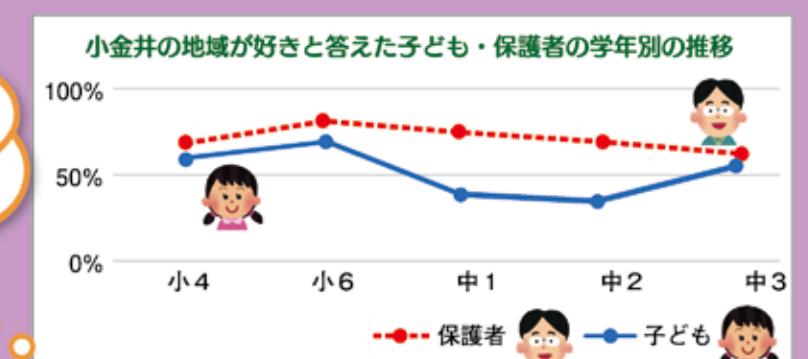


地域を身近に感じる活動やイベントの情報は、地域の公共施設にも多く掲示されていますが、子どもの6割が「日中3時間以上、自由に過ごせる日」が月に6日以下という忙しい状態であり、なかなか参加も難しいようです。

○ あなたは小金井の地域が好きですか？



小金井の地域が「好き」な子どもは、全ての学年で保護者を下回っています。「地域の魅力」について、お子さんと話してみませんか？



○ 「地域との日常的な関わり」のうち、「地域行事・公共施設との関わり」「小金井への想い」に関する「子ども」と「保護者」の認識を調べたものです。

6割の子どもが、「日中3時間以上、自由に過ごせる日」が月に6日以下、つまり1週間に2日もないという、忙しい現代の子どもたちは、「地域の行事」や「地域で活動する団体」への関心や意識が低くなりがちです。保護者が、地域の一員として日々感じている小金井市の「地域の魅力」をお子さんに語り、子どもたちを「次代の郷土を担う人材」へと育てます。お子さんが小さかった頃に参加した「地域の行事」での体験、「小金井の地域に住んでみて良かったこと」など、「地域の魅力」を短い時間でもお子さんに話してみませんか？